

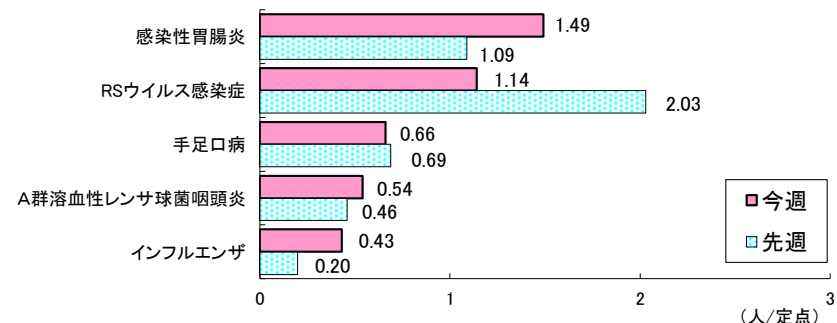


【第39週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、湯沢で増加、秋田中央、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で44%減少しています。保健所別では、大館で増加、秋田市、北秋田、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で4%減少しています。保健所別では、大館、秋田中央、大仙、横手で増加、能代、湯沢で同規模、秋田市、北秋田、由利本荘で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減
RSウイルス感染症	2.03	1.14	↓	2.71	0.57	↓	2.00	3.25	↑	2.00	1.00	↓				0.75	0.25	↓	3.50	0.75	↓	0.75	0.50	↓	5.33	4.33	↓	1.00	0.50	↓
インフルエンザ	0.20	0.43	↑	0.18	0.55	↑		1.43	↑				2.25		↓		0.67	↑		0.33	↑		0.14	↑						
咽頭結膜熱	0.11	0.06	↓				0.25		↓							0.50	0.50					0.25		↓						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	0.54	↑	1.00	0.57	↓		0.50	↑								0.75	↑	0.50		↓	0.50	2.25	↑	0.33		↓	1.00	0.25	↓
感染性胃腸炎	1.09	1.49	↑	1.86	3.14	↑	0.25	1.00	↑		1.00	↑	2.00	2.33	↑	2.00	1.50	↓	0.25		↓	1.00	0.75	↓	1.00	0.67	↓	0.50	1.50	↑
水痘	0.11	0.03	↓	0.29			0.25	0.25																			0.25		↓	
手足口病	0.69	0.66	↓	0.71	0.14	↓	0.50	0.75	↑	2.00	0.50	↓	0.33	0.33		1.50	2.00	↑	0.25		↓	0.25	1.00	↑	0.67	1.00	↑	0.50	0.50	
伝染性紅斑	0.03		↓													0.25		↓												
突発性発しん	0.29	0.20	↓	0.14	0.29	↑	0.50		↓					0.33	↑	0.25		↓	1.00		↓		0.25	↑	0.33	1.00	↑	0.25		↓
ヘルパンギーナ	0.40	0.09	↓	0.14		↓	0.25		↓	1.50	0.50	↓				0.25	0.25		1.25		↓				0.67		↓	0.25	0.25	
流行性耳下腺炎	0.03		↓																			0.25		↓						
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.43	0.29	↓	0.67	0.67					*	*		*	*		*	*								1.00		↓	*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.13	↓	1.00	1.00											*	*										1.00		↓	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↑」は増加を、「↓」は減少していることを示します。  
「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から2人、北秋田保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-38週	39週	計
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ベスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	15609	84	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	4		
	細菌性赤痢	73	1	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2746	32	1
	腸チフス	31		
	バラチフス	12		
	E型肝炎	378	3	
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	348	7	
	エキノкокクス症	15		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	4		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	79		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-38週	39週	計
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	32		
	つつが虫病	84	5	
	デング熱	328	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	181		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	44		
	野兔病			
	ライム病	11		
	五類	リッサウイルス感染症		
リフトバレー熱				
類鼻疽		2		
レジオネラ症		1720	12	
レプトスピラ症		15		
ロッキー山紅斑熱				
アmeerハ赤痢		642	4	
ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		244		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1562	12	
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		57		
急性脳炎		658	4	
クリプトスポリジウム症		16		
クロイツフェルト・ヤコブ病		138	1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		671	3	
後天性免疫不全症候群		856		
ジアルジア症		33		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		424	2	
侵襲性髄膜炎菌感染症		35		
侵襲性肺炎球菌感染症		2405	13	
水痘(入院例に限る)		356	8	
先天性風しん症候群	3			
梅毒	4824	17		
播種性クリプトコックス症	105			
破傷風	96	2		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	55			
百日咳	12669	137	4	
風しん	2196	3		
麻しん	693			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24			

トピック

<RSウイルス感染症が流行しています>

7月中旬からRSウイルス感染症の全国的な流行が認められており、秋田県内でも第32週(8/5~8/11)以降、患者報告数の増加がみられています(図)。以前は秋頃から患者報告が増加し、年末をピークに春まで流行が続いていましたが、2016年以降、流行が早まり、9月にピークを迎える傾向にあります。今週の定点あたり報告数は1.14と先週から減少に転じていますが、いまだ患者の多い状況が続いておりますので、ご注意ください。

■症状

感染後4~6日の潜伏期間の後、発熱や咳・鼻汁などといった上気道炎症状が現れます。1歳未満の乳児では中耳炎の合併や、肺炎、気管支炎へと進行することも多く、重症化すると無呼吸発作を起こすなど、入院が必要となる場合もあります。

■予防

RSウイルスには1歳までに半数が、2歳までにほぼ全ての幼児が1度は感染するとされています。生涯にわたり何度も感染を繰り返しますが、身体の免疫機能によって徐々に症状は軽くなり、年長児以降では軽いかぜ程度で済むようになります。ただし、重症化しやすい乳幼児や免疫力の低下した高齢者への感染源となる可能性もありますので、手洗い等の日常的な予防対策をしっかりと行いましょう。

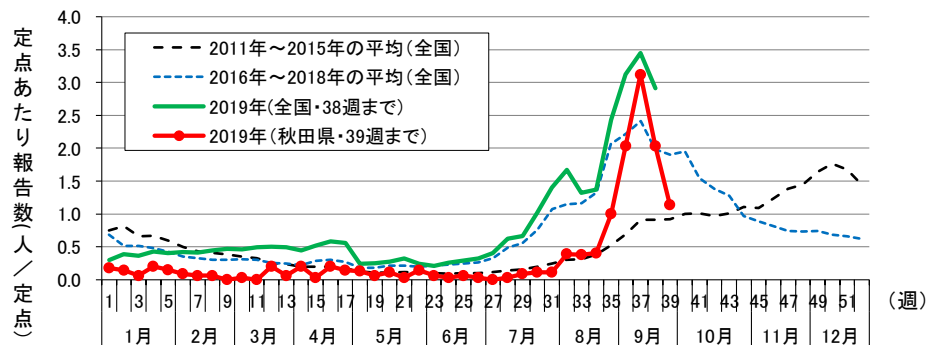


図 RSウイルス感染症の定点あたり報告数の推移

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症による集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
横手市	相愛保育園	9/24	120名のうち 18名	26名のうち 0名	18名	9/9 ~ 9/24	発熱、咳、鼻水



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		